

01 【街の散策からの気づき発見】

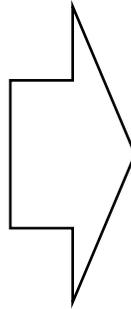
「New 春日部駅 Still in progress 」

会員 K.T.

旧春日部駅(2018.6.2)



進行中の春日部駅(2024.3.27)



「万物は流転する」、万物とはこの世の中に存在する全ての物、流転は絶えず変化を続けること、を意味する。紀元前のギリシャのヘラクレイトスが遺した、とされている。

毎日変化する小さな事や物は、案外気がつかないものだ。ある日、ふと立ち止まって、振り返ると、「あれ？」と、変化に気がつくことがある。

今、春日部駅は、目に見える変化が起こり、変わっている。駅の高架工事が始まり、とんがり帽子のなつかしい風景が消えて寂しい思いと、2031年完成予定の新駅は、これまで街の東西を分断していた駅から東西が交流する駅に変わる。駅周辺はどう変化していくのだろうか、とワクワク感もある。



思えば、春日部市に住んで27年の時間が過ぎたことに気づく。

過ぎた時間を振り返ると、『時の流れは速いものだ』、と思う。住み始めた1997年頃の世相をみると、

「たまごっちが大ヒット、ペルー日本大使公邸占拠事件、香港返還、ダイアナ妃事故死、山一証券経営破綻、サッカー「ジョホールバルの歓喜」日本代表 W 杯初出場決定、COP3 で温室効果ガス削減京都議定書の採択などがあった。日本の人口 1.261 億人、春日部市の人口 239.6 千人、等」

まだ、人口増加の時代だった。街には、ロビンソン百貨店があり、おしゃれな品や贈り物が買え、街に賑わいがあった。平成28年(2016)にロビンソン百貨店が閉店し、かすかべ大通りの人の流れが減った。

現在は、

日本の人口は2008年1.281億人をピークに人口減少の時代に入っている。2024年の日本の人口は1.241億人、春日部市の人口も230.3千人、と減少している。街の賑わいが減り、いつのまにかシャッターを下ろしたままの店が増えているようだ。『街が賑わいをとりもどしてもらいたいものだ。』、と思う。

私は『このまちには魅力はある』、と思っている。私達が住んでいる街の歴史・文化・環境変化を学習し、古きを訪ね、気づいた街の魅力と街の環境変化を考えてみたい、こういう次第で街の散策を始める事にした。